



01



02



03



09



10



04



05



08



07



06

01 02 歌声で会場を魅了した伊藤多喜雄さん・オニツカサリさんのライブ 03 湖上の風を楽しむカヌー教室 04 長蛇の列となった佃煮などの無料配布 05 霞ヶ浦の風物詩「観光帆引き船」操業 06 沖繩のリズムで会場をひとつに！百里基地エイサー部 07 霞ヶ浦地区の保育園児によるお遊戯 08 会場を元気に！あゆみ太鼓 09 南中吹奏楽部 10 メイン行事の職工組合による木造上模式

Camera Report

●第25回あゆみ祭り ●主催／あゆみ祭り実行委員会

歩崎を彩る 盛夏の祭典

8月16日、第25回あゆみ祭りが歩崎公園で盛大に開催されました。祭りのにぎやかさに誘われるかのように続々と集まる人々。老いも若きも祭りに集い、たくさんの笑顔と歓声に包まれた祭りとなりました。

歩 崎公園をメイン会場に開催された第25回あゆみ祭り。ステージや広場では、各種ショーの披露や模擬店などが出店。オニツカサリさんや伊藤多喜雄さんのライブでの歌声は会場を訪れた人々を魅了しました。湖上では、観光帆引き船操業やカヌー教室が行われ、湖上からの風を楽しんでいました。百里基地エイサー部の息のそった沖繩舞踊に観客も参加し、沖繩のリズムで会場が一つになれば、クライマックスで打ち上げられたメッセージ花火が、湖面を鮮やかに彩り、歩崎を彩る夏の祭りは盛大に幕を閉じました。



文化協会加盟団体紹介

千代田棋友会

最 近、高齢者の約1割が認知症になっている報道がされていますが、将棋愛好家が認知症になったという話はあまり聞いたことがありません。将棋は、面白く飽きることない知能ゲームです。人間の体力や頭脳は、年齢を重ねるとともに老化していきますが、体や頭を適度に運動させることで老化のスピードを遅くすることができるのではないのでしょうか。

千代田棋友会では、年2回の大会のほかに、毎週土曜日の午後1時より千代田公民館で将棋講座を開講しています。初心者も歓迎していますので、一緒に楽しい時間を過ごそうではありませんか。

会長 玉造春夫 ☎0299-59-3325

市民学芸員

雑記帳

幕末志士古渡喜一郎

古 渡喜一郎(1842年生)は、青年期には水戸に出て学問と剣術を学び、そこで志を固め、浪士組そして新徴組へと入隊していったようです。新徴組は後に出羽国庄内藩に属しましたので、喜一郎は酒田県士族になり、鶴岡の町役人として山形県に居住しました。明治7年には、故郷である新治県へ帰り、明治12年に一等警部となりました。その後、退職し郷里の荻平に住むようになり、晩年は農業に従事します。明治19年3月には宍倉連合戸長(宍倉村、安食村、下軽部村、岩坪村、新岩坪村)を務めましたが、明治21年7月31日荻平の生家で45歳で没しました。荻平の共同墓地には、生前の功績が記された墓石が建立されました。喜一郎の資料は、現当主である古渡勝樹氏が大切に引き継いでいます。私は、市民学芸員として、身近にひっそりと伝わる先人の情報を発掘し、多くの市民に発信していきたいと思っています。



↑喜一郎の肖像画に直筆と思われる詩が記されている軸

岡田 霞(宍倉)

紫陽花俳句会

ざわざわとその又先も芒果つ
秋茄子を茶うけに話はずみをり
低く飛ぶ羽の薄れて秋の蝶
武家屋敷探れば萩の花優し

大山岩男(下稲吉)
久保庭悦子(深谷)
萩原とし子(南根本)
福田宏通(御殿)

投稿作品

初鴨の着水湖のまぶしかり
病院の移転予定地秋の雷
投函のこもりと落ちて今朝の秋
艶のよき新車仕立てて茄子の馬

うねはら
畷遙か馬鈴薯の花オホーツク

成島利男(下稲吉)
小松崎正生(戸崎)
中島暉子(下志筑)
江崎慶子(稲吉東)
田能幸雄(東野寺)

▼俳句・短歌の投稿は、秘書広聴課までお願いします

文芸ひろば

詠歌の紹介
俳句

千代田俳句同好会